

E V E N T R E P O R T

教員報告 分子研夏の体験入学2011

2011年度担当教員 物質分子科学研究領域 准教授 西村 勝之

2011年8月8日(月)から11(木)の期間、分子科学研究所において第8回夏の体験入学が開催された。本事業は分子科学研究所における大学院教育、研究者養成、共同利用研究などの特徴ある活動が分子科学の発展に大きく貢献していることを知って頂くことを目的としている。参加者構成は学部学生39名、修士課程3名、その他1名の合計43名(期間外参加者4名を含む)となり、例年とは異なり学部生が大多数を占め近年では最も多い参加者数となった。

8日14:00より明大寺地区で総研大の説明、体験内容紹介後、施設見学を行った。さらに懇親会を開催し、全参加学生に自己紹介を兼ね抱負を語ってもらった。9、10日の2日間、各グループで体験実験をしてもらい、11日は例年より早い9:00から発表会を開始した。発表者数が多くタイトなスケジュールであったが、休憩時間を短縮して予定の12:00に無事終了することができた。各グループでの発表後の感想を述べる場では、“来年も参加したい”や“総研大の学生になりたい”

というような意見が多数を占め、充実した体験入学であったことが伺えた。

アンケート結果では参加情報の入手先は“友人から”が最も多く34%、次いでポスター22%、分子研ホームページ20%が大きな割合を占めた。また総研大および分子研に関しては、学習および研究の場として魅力的であるにも関わらず宣伝が不十分であるという意見が多数聞かれた。

最後に、本事業にご協力頂いた皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



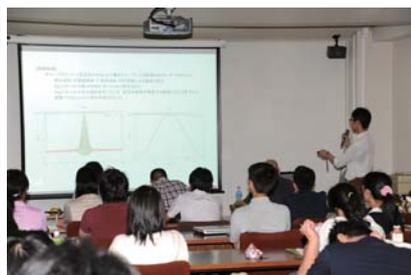
玄関前で集合写真



オリエンテーション



実験風景



発表会



懇親会

E V E N T R E P O R T

教員報告 総研大アジア冬の学校2011

2011年度担当教員 理論・計算分子科学研究領域 奥村 久士

総研大アジア冬の学校が平成24年1月10日(火)から13日(金)にかけて岡崎コンファレンスセンターで開催されました。分子研で行っている研究・教育活動をアジア諸国の大学生・大学院生および若手研究者の育成に広く供することを目的として平成16年度に始まり、今回で8回目になります。海外からの参加者は20名でその国籍別の内訳はインド6人、タイ5人、韓国3人、イラン2人、中国2人、台湾1人、モンゴル1人でした。そのほかに分子研の若手研究者など日本国内からの参加者が11名(国籍は日本、中国、台湾、タイ)、合計31名でした。

今回は基礎から最先端までじっくり講義していただくことを目的として、テーマを"Basics and Frontiers in Molecular Science"と設定しま

した。これまでの冬の学校よりも1講義当たりの時間を長く(90-180分)取って、以下の先生方にご講義いただきました(講義順)。

正岡重行先生(分子研)
"Coordination Chemistry and its Application toward Artificial Photosynthesis"

大島康裕先生(分子研)
"Molecules in Motion: From Probe to Control by Light"

西村勝之先生(分子研)
"Principles of Solid State NMR and its Application for the Characterization of Biomolecules"

大石雅寿先生(国立天文台)
"Towards Life in the Universe"

桑島邦博先生(分子研)
"Molecular Mechanism of Protein Folding"

平田文男先生(分子研)
"From Statistical Mechanics of Liquids to Biomolecular Science"

なんとか無事に冬の学校を開催できたのも周到な講義を準備された先生方、もう一人の世話人の藤貴夫先生、常に気を配ってくださった秘書の川口さん、川合さんのおかげです。深く感謝いたします。

